

聞き書き甲子園

担当する「森の名人」が決定しました。

齋藤香穂(1-2)が聞き書きを担当する「森の名人」が決定しました。大江町在住で苗木づくりをされている大沼健蔵さんです。これから打ち合わせを行い、聞き書きの準備に入っていきます。今後レポートを作成し、来年3月に東京で行われる「全国フォーラム」で成果を報告することになります。

「森の名人」とは

「もりのくににっぽん運動」のリーディングプロジェクトとして、平成14年度から「森づくり」「森の恵み」「加工」「森の伝承・文化」の4部門から、すぐれた技を極め、他の模範となっている達人を、(社)国土緑化推進機構が選定しています。



齋藤 香穂
(1-2)

「白い森の国フォーラム」(小国町)にて事例発表予定

11月4・5日(土)に小国町の主催で「国際森林年記念 白い森の国フォーラム」が開催されます。その中で、昨年度聞き書き甲子園に参加した齋藤麻未(2-2)が「森の聞き書き甲子園に参加して」のテーマで事例発表を行う予定です。

【11月5日(土)午後2時10分～於 おぐに開発総合センター】



齋藤 麻未
(2-2)

「災害からいかに身を守るか」～避難訓練～

9月30日(金) 避難訓練を実施しました。今回は震度6の地震が起きそれによって火災が発生したという想定で行い、西置賜行政組合消防署 小国分署長の舟山孝夫氏から講評をいただきました。火災で一番怖いのは煙であり、ハンカチ一枚が自分の命を守る事を教えていただきました。



さらに文部科学省制作のDVD「災害から命を守るために」および、宮古市役所の屋上から撮影した3月11日の「東日本大地震三陸沖大津波」の生々しい映像を見ました。

災害によって起こり得る身近な危険を知り、より安全に避難する方法を学ぶよい機会となりました。

福祉施設で「清掃ボランティア」を実施

(飯豊地区PTA)

9月24日(土)に飯豊地区PTAの皆さんが飯豊町椿にある介護福祉施設「福祉の里 めざみ」にて清掃ボランティアを行いました。生徒・保護者・職員の11名が参加し、ガラス磨きなどの作業に汗を流しました。

